

<報道発表資料>

令和3年4月30日

埼玉県の賃金・労働時間及び雇用の動き (毎月勤労統計調査結果令和3年2月分)

2月の現金給与総額は、246,233円(前年同月比0.9%減)となり、4か月連続のマイナスとなった。総実労働時間は、127.5時間(前年同月比2.7%減)となり、4か月連続マイナスとなった。常用労働者数は、2,135,364人(前年同月比1.1%減)となり、4か月ぶりマイナスとなった。

また、令和2年年末賞与の1人平均支給額は、令和元年年末賞与に比べ、11.9%減の307,684円となった。

1 賃金

現金給与総額は、246,233円(前年同月比0.9%減)となり4か月連続のマイナスとなりました。物価変動の影響を除いた実質賃金は、前年同月比0.1%減となりました。

現金給与総額の前年同月比を主な産業についてみると、製造業1.6%減、卸売業・小売業1.7%増、医療・福祉5.2%増となりました。

なお、就業形態別の現金給与総額は、一般労働者は340,847円、パートタイム労働者は99,119円でした。

	金額	指数の前年同月比	
現金給与総額	246,233円	-0.9%	4か月連続マイナス
定期給与	242,874円	-0.6%	2か月連続マイナス
所定内給与	227,707円	0.5%	2か月ぶりプラス
所定外給与	15,167円	-13.7%	12か月連続マイナス

※2月の消費者物価指数(さいたま市 持家の帰属家賃を除く総合)は、100.9で前年同月比-0.8%

2 労働時間

総実労働時間は、127.5時間(前年同月比2.7%減)となり4か月連続マイナスとなりました。

前年同月比を主な産業についてみると、製造業3.8%減、卸売業・小売業0.2%増、医療・福祉3.2%増となりました。

なお、就業形態別の総実労働時間は、一般労働者は159.7時間、パートタイム労働者は77.7時間でした。

	時間	指数の前年同月比	
総実労働時間	127.5時間	-2.7%	4か月連続マイナス
所定外労働時間	9.3時間	-8.0%	13か月連続マイナス

3 雇 用

常用労働者数は、2,135,364人(前年同月比1.1%減)となり4か月ぶりマイナスとなりました。

主な産業について前年同月比をみると、製造業0.3%増、卸売業・小売業0.8%減、医療・福祉0.9%減となりました。

なお、一般労働者は1,304,231人、パートタイム労働者は831,133人で、パートタイム労働者の比率は38.9%(前年同月差0.0ポイント)でした。

	人数	指数の前年同月比	
常用労働者数	2,135,364人	-1.1%	4か月ぶりマイナス

※ 毎月勤労統計調査(令和3年2月分)の埼玉県の調査結果(確報値)です。

※ 調査結果の数値は特に記載がある場合を除き、事業所規模5人以上、調査産業計の数値です。

※ 指数は基準時(平成27年平均)を100とした数値です。

※ 前年比は指数等により算出した前年からの増減率のため、実数から算出した増減率とは一致しない場合があります。

※ 今回の調査対象事業所数は1,358事業所、回答事業所数は1,007事業所、回収率は74.2%です。

特別掲載 年末賞与

令和2年11月から令和3年1月の3か月間に支給された年末賞与(事業所規模30人以上)は、賞与を支給した事業所の1人平均支給額が307,684円(前年比11.9%減)となりました。所定内給与に対する割合は0.99か月分で、前年を0.08か月分下回りました。

なお、全事業所における賞与を支給した事業所の割合は91.0%となり、前年を1.5ポイント上回りました。

主な産業の平均支給額の前年比は、製造業4.6%減、卸売業・小売業17.7%減、医療・福祉1.6%減となりました。

	埼玉県	
	金額	実数の前年比
支給労働者1人平均支給額	307,684円	-11.9%

※ 「支給労働者1人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)についての1人平均賞与支給額です。

この統計に関するホームページアドレス

『彩の国統計情報館』毎月勤労統計調査(月報、年報)のページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a031/index.html>